



令和5年6月20日

「質の高い臨床教育・研究の確保事業」について、公募の結果、

4件を選定しました

「質の高い臨床教育・研究の確保事業」について、4事業を選定しましたのでお知らせします。

1. 目的

本事業は、診療参加型臨床実習の充実や保健分野における研究の質の向上等の課題に対応するため、大学・大学病院における、より効率的で質の高い臨床教育・研究実施のための新たな体制を構築する優れた取組を支援し、これを持続的な業務改善につなげることで、医師の働き方改革に貢献することを目的としています（参考資料2）。

2. 選定結果

医学部を置く各国公私立大学の学長宛に公募を行った結果、26件の申請があり、質の高い臨床教育・研究の確保事業推進委員会における審査を踏まえ、4件を選定しました（参考資料1、3）。

3. 審査結果

今回の審査において、質の高い臨床教育・研究の確保事業推進委員会（委員長：馬場秀夫（熊本大学病院病院長））から所見が述べられました。（参考資料4）

4. その他

本選定結果は、文部科学省ウェブサイトにも掲載しています。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/2022001_00007.htm

<本件に関する問合せ先>

文部科学省高等教育局医学教育課

課長補佐 菊池 博之

医学教育係長 川口 真史

電話 03-5253-4111 (3047, 3684)

大学病院支援室

室長補佐 竹本 浩伸

病院第二係長 佐藤 奈津子

電話 03-5253-4111 (2096, 2578)

「質の高い臨床教育・研究の確保」 選定結果一覧

申請件数：26大学、選定件数：4大学

No	区分	大学名	事業名
1	国	千葉大学	高度な連携実践能力を有する人材養成と双方向情報システム構築による持続的かつ先導的な包括的臨床教育研究支援プログラム
2	国	名古屋大学	スペシャリストの継続的育成によるサステナブルな臨床教育・研究力の強化事業
3	国	神戸大学	ICTの包括的導入による業務最適化に時短女性医療者活用とシミュレーション教育の拡充を組み合わせた次世代の医学部教育・研究体制の確立
4	国	琉球大学	「安全な処方のためのシミュレーション教育」と「患者と研究者の負担を軽減する臨床研究専門職の確保とDCT推進」

質の高い臨床教育・研究の確保事業概要

質の高い臨床教育・研究の確保事業

令和5年度予算額

1.2億円
(新規)

令和4年度第2次補正予算額

15億円



文部科学省

背景・課題

○大学・大学病院は、医療人を養成する教育機関、新しい医薬品や医療技術を開発する研究機関、地域で高度な医療を提供する診療機関という3つの重要な役割を担ってきた。

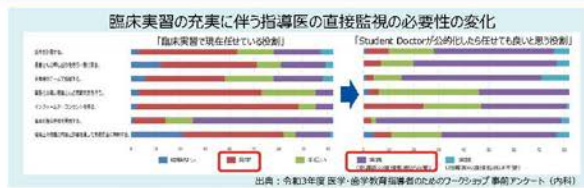
○その中で、令和3年5月の医師法等改正により、医学生等が臨床実習開始前に受ける**共用試験が令和5年度から公的化**されることを受けて、試験実施の強化を伴う共用試験の確実な実施や、学生が医業を行う**診療参加型臨床実習の実現**が必要。

○一方、近年、我が国は国際社会における研究実績の相対的低下が指摘されており、大学病院等保健分野の大学等教員については、職務の中で研究を行う時間の割合が大幅に減少していることから、研究実績向上のため、**研究時間を確保し研究の質を高める**ことが必要。

○このような中、令和6年（2024年）4月から、労働基準法等に基づく時間外・休日労働時間の上限が医師にも適用（※）されることとなり、大学病院で勤務する医師は、労働時間の短縮に取り組みつつ、**教育・研究の充実を図る**ことが必要。

⇒大学・大学病院で勤務する医師が、**教育・研究業務に一層取り組むためには、より効率的で質の高い方法を導入する必要がある。**

※ 医師の時間外・休日労働時間の上限は原則年960時間、B水準・連携B水準・C水準は年1,860時間。ただしB水準・連携B水準は2035年度末を目標に終了する予定。



事業内容

○大学・大学病院における、より効率的で質の高い臨床教育・研究実施のための新たな体制を構築する優れた取組を支援し、これを持続的な業務改善につなげることで、医師の働き方改革に貢献

- 事業実施期間：令和5年度～令和7年度（予定）
- 交付先：国公私立大学
- 件数・単価：4箇所×3,000万円

【取組内容】

- 教育担当専任教員等の確保、診療参加型臨床実習の実施に向けた環境整備、新たな教育プログラムの開発等、臨床教育実施体制の構築
- 臨床研究支援人材の確保、研究支援者向け教材の作成、臨床研究実施支援システムの構築・改良等、臨床研究支援体制の構築

（取組イメージ）



アウトプット(活動目標)

- 構築した先導的大学モデル 4件

アウトカム(成果目標)

- 診療参加型臨床実習の充実
- 保健分野における研究活動時間の確保

インパクト(国民・社会への影響)、目指すべき姿

- 質の高い実践力のある医師の養成
- 我が国の臨床研究の活性化

質の高い臨床教育・研究の確保事業推進委員会 委員名簿

※五十音順（敬称略）

伊藤 彰一 千葉大学大学院医学研究院 医学教育学 教授
 寺内 康夫 横浜市立大学 医学部長
 馬場 秀夫 熊本大学病院 病院長
 三浦 公嗣 藤田医科大学 特命教授
 山本 真一 自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター長

計5名

質の高い臨床教育・研究の確保事業推進委員会 専門委員名簿

※五十音順（敬称略）

掛地 吉弘 神戸大学大学院医学研究科 教授
 笠井 宏委 東北大学病院臨床研究推進センター 特任准教授
 菊地 佳代子 藤田医科大学橋渡し研究統括本部 准教授
 小松 弘幸 宮崎大学医学部医療人育成推進センター 教授
 清水 郁夫 千葉大学大学院医学研究院 特任教授
 調 憲 群馬大学大学院医学系研究科 教授
 武富 紹信 北海道大学大学院医学研究院 教授
 長谷川 仁志 秋田大学大学院医学系研究科 教授
 松嶋 由紀子 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター 特任講師
 山本 精一郎 静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科 教授
 吉田 素文 国際医療福祉大学大学院医学研究科 教授

計11名

質の高い臨床教育・研究の確保事業推進委員会 所見

令和 3 年 5 月の医師法等改正により、医学生等が臨床実習開始前に受ける共用試験が令和 5 年度から公的化されることを受けて、学生が医業を行う診療参加型臨床実習の実現が求められています。

一方、近年、我が国は国際社会における研究実績の相対的低下が指摘されており、大学病院等保健分野の大学等教員については、職務の中で研究を行う時間の割合が大幅に減少していることから、研究実績向上のため、研究時間を確保し研究の質を高めることが必要です。

このような中、令和 6 年 4 月から、労働基準法等に基づく時間外・休日労働時間の上限が医師にも適用されることとなり、大学病院で勤務する医師は、教育・研究の充実を図るとともに、労働時間の短縮に取り組むことが求められています。

本事業は、診療参加型臨床実習の充実や保健分野における研究の質の向上等の課題に対応するため、大学・大学病院における、より効率的で質の高い臨床教育・研究実施のための新たな体制を構築する優れた取組を支援し、これを持続的な業務改善につなげることで、医師の働き方改革に貢献することを目的として、公募を行いました。

公募の結果、申請のあった 26 件の事業において、全体構成の優秀性や運営体制、事業の継続・成果の普及に関する構想の妥当性等について、本委員会による書面審査、面接審査、合議審査を実施し、特に優れた 4 件の事業を選定しました。

まず、今回、公募要領上、選定件数を 4 件程度としていた中で 26 件の申請があったことについては、医師の働き方改革が大学・大学病院における教育・研究に与える影響及び本事業に対する各大学の関心の高さを表すものと受け止めるとともに、多くの申請を頂いたことについて委員会として感謝申し上げます。

その中で、今回、選定された大学は各取組とも、実現性が高く、創意工夫されたものとなっておりますが、本委員会が指摘した改善に関する所見を踏まえた着実な改善に取り組んでいただくとともに、事業計画を確実にかつ迅速に実行していただきたいと考えます。

また、選定された各大学には、我が国における質の高い臨床教育・研究を担う取組を実施するという決意を持って取り組んでいただくとともに、下記の点を期待します。

- ・他大学の参考となるよう、特色ある先進的な取組やモデルとなる取組について、実現するためのノウハウ、留意点等も含めて積極的に情報発信するなど、成果等の普及・展開に努めること。
- ・長期的な展望に基づく具体的な事業継続方針を策定の上、補助期間終了後は更に発展的な取組として実施できるよう工夫して取り組むこと。

一方、今回、特徴的な提案であっても、事業の構想・計画の具体性の観点等から、相対比較の結果、残念ながら選定に至らなかった取組がありました。選定されなかった各大学においても、申請いただいた事業に対する本委員会の所見をお伝えしますので参考にさせていただくとともに、今後も本事業の趣旨を生かし、診療参加型臨床実習の実質化及び臨床研究の実施体制強化に取り組んでいただくことを強く期待します。

終わりに、我が国の医学医療の発展にとって、大学・大学病院が一丸となって医師の働き方改革に積極的に取り組むことは非常に大切なことと考えています。本事業を通じ、各大学における持続可能な業務改善がさらに推進されることを希望しております。

質の高い臨床教育・研究の確保事業推進委員会
委員長 馬場 秀夫